



ど)に連絡。最悪の場合は交番や警察に連絡して適切に対処してもらおう。見守りボランティアは、奈良公園を訪れる奈良市民の方々にも上記のルールで参加を呼びかけ、地元中心の穏やかな仕組みにする。

この方法の主なメリットは以下のとおりです。

警備員の増員や防犯カメラの設置などに比べて、初期投資、運用コストが非常に低い。地元ボランティア中心であれば、過度な恫喝を避けやすく、公園の穏やかな雰囲気を保ちやすい。市民参加により、鹿と人との共存文化が自然に根づく可能性が高い。

併せて有効と考えられる施策

- ・多言語（中国語、英語など）のマナー看板の増設
- ・観光客向けガイドの配布強化

議員の皆様におかれましては、上記の懸念と提案について御審議いただき、奈良公園の鹿保護と、訪れる全ての人々が安心して楽しめる環境づくりに御尽力くださいますよう、何とぞお願い申し上げます。

以上